



## ー見つけた課題ー

「昔(=比べ)て多くの高校生たちは

### 問題

私たちは国際バカロレアという教育プログラムを通して、国際的な視野や考え方で学ぶことを常に

日本の文化に触れ合う機会が少なくなっている

### 改善

和服は着てみたいと思うものの、着付けが難しい、苦しいなどの問題があります。それに対し、洋服は

制服革命で日本の文化守る！

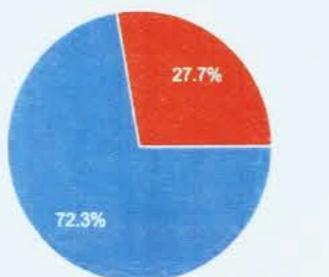
行っています。国際的な視野を持つ一方で、自分のアイデンティティを探っています。その中で、私たちは日本人なのに日本古来の文化に触れることが少ないと感じました。普段の日常生活に古来の文化を取り入れられたら良いなと考えました。そこで、日本の代表的な文化の一つである和服に注目しました。

## アンケート

私たちは、50人の高校生を対象とした、アンケートを取りました。

和服を着たいと思う？

47名の回答



上のグラフから、和服を着たいと思う人が七割を占めていることが分かります。その中には着たいけど「めんどくさい」「動きづらい」「疲れそう」などの意見がありました。また、和服を着る機会が少なく、ほとんどの人が「一年に一回」「数年に一回」など、今の若者が和服を着ることはとても少ないことが分かります。しかし、和服は日本の伝統、文化だから着たいという声がたくさんありました。

ゆとりがあり、動きやすいので現在たくさんの人が着ています。ですが、普段から和服を着ている人は「慣れだ」と言います。つまり、日常的に和服を着る環境を作れば和服に抵抗なく着ることができます。たとえば袴のような和服は動きやすく、正式な場面でも着ることができます。私たちはそこに注目して、「カムバック和服」を考えました。

カムバック和服は、袴の要素をもとに作られています。袴は元々、運動着として着られていました。なので、とても動きやすく、通気性の良い事が特徴です。これらを取り入れる事で、毎日和服を着る事が、より楽に感じます。また、和服は、日本人の体に合わせてデザインになっているため誰でもかっこよく着こなせます。

制服の袴の柄や色は、学校によってカスタマイズ可能。また、胸元や背中の部分に、校章を入れる事ができる。

冬は、ブレザーの様な羽織を着る。

男子は、馬乗りスタイルというズボン型の袴。



制服としての役割はもちろん、和服を着る事で、私たちの国の文化をより身近に触め合う事ができる。

男女共用、上が半襦袢半びきが短く、着やすい仕様。

女子は、行灯スタイルというスカート状の袴で、トイレにも行きやすい構造になっている。